

城下町・大隈の町並みと 黒田家ゆかりの地を歩く

後藤又兵衛、母里太兵衛が城主をつとめた益富城の城下町だった大隈。大隈の町並みは、寺社や酒蔵などがあり当時の面影を残しています。

KAHO WALKING MAP



麟翁寺



黒田節にも謳われた豪傑で黒田二十四騎の一人「母里太兵衛」のお墓があります。山門は、益富城の搦手門(からめてもん)が移築されたと伝えられています。

嘉穂庁舎

母里太兵衛の母のお墓があり、また後藤又兵衛の母のものも伝えられています。

福円寺

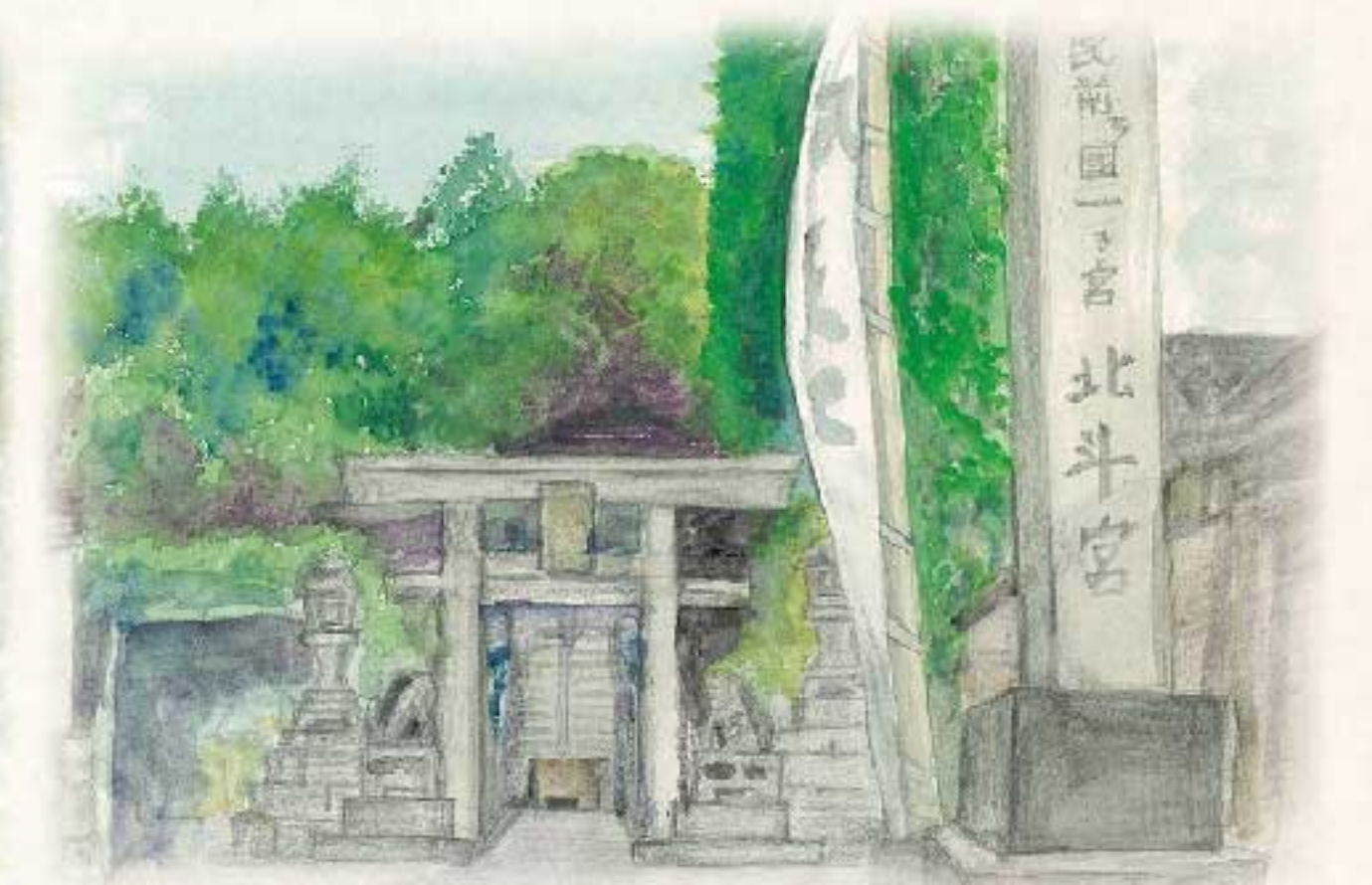


和膳はんなり



ゴボウ、ニンジン、ぎんなん、ひらたけの他、嘉麻市の特産品である嘉穂牛がぎゅぎゅつと詰まった「嘉麻の釜めし」が楽しめます。

北斗宮



50年ほど前まで、境内には大楠があり、三千年の大楠として貝原益軒の『筑前国続風土記』中に記載されたほどのものでした。江戸時代に火災にあい、50年程前に枯れ果ててしまいました。現在は、その大楠の子どもにあたるものが境内にあり樹齢600年といわれています。

大屋菓子店

黒田官兵衛の家臣後藤又兵衛にちなんだ饅頭・又兵衛饅頭を50年以上も作り続けています。又兵衛は黒田二十四騎の一人で、槍の名手とされる猛者。歴史好きだった先代が開発したそうです。

寒北斗



江戸時代からの酒蔵は情緒あふれる趣で試飲と見学もできます。※見学の際は要予約。

鮭神社

海の神の使いが鮭に姿を変えてお参りに来ると伝えられる、鮭の名を冠した全国でも珍しい神社です。毎年サケがこの神社の近くの川に上ってくることがあり、無事に上ってくればその年は豊作であり、これを途中で捕えて食べれば災禍に遭うとか、家が絶えると言われ、広く信じられてきました。境内の鳥居脇には樹齢700年の夫婦楠があります。

